

(有)静岡健康企画 ことぶき薬局 TEL055(977)6024

たまち薬局 TEL054(251)1678

ひまわり薬局TEL053(463)4312 みかん薬局TEL053(584)2230 いちご薬局TEL055(946)6430

腹膜透析(PD)について

近年、慢性腎臓病(CKD)が増え、慢性透析患者数は年々増加しています。

透析には血液透析と腹膜透析があります。

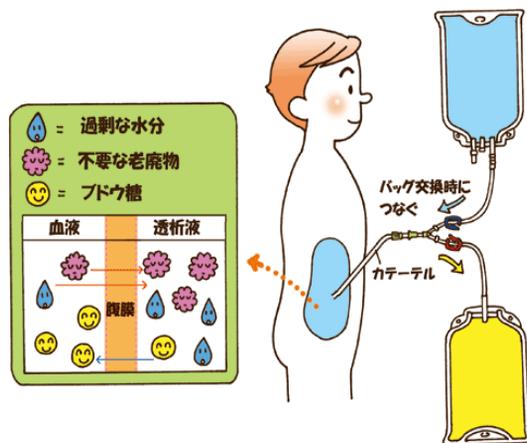
今回は腹膜透析について紹介します。

●腹膜透析(PD)とは？

自分の体の中の「腹膜」を利用して血液をきれいにする、在宅で行う透析療法です。

腹膜で覆われている腹腔(お腹)の中に、透析液を入れて、4～8時間程度ためておくと、体に不要な老廃物や余分な水分が、血液から腹膜を介して、お腹の透析液側に出できます。その液を体の外に排液することで老廃物が除去されます。

腹膜透析(PD)は、自分自身で、または介助者にサポートしてもらいながら、自宅や会社等で行います。寝ている間に機械を使って自動的に行う方法(APD)と、日中に数回透析液を交換する方法(CAPD)があります。



腹膜透析の特徴

- 在宅療法。自宅や職場、学校でも可能で、生活スタイルに合わせた治療が可能
- 毎日緩やかに透析を行う
- 通院は月1～2回程度
- 治療は患者さん自身・ご家族で行える
- 個人差はあるが、残っている腎臓の機能をより長く保つことができると言われている
- 腹膜透析(PD)を始める前に、カテーテル(透析液を交換するためのチューブ)をお腹に埋め込む手術をする

●腹膜透析(PD)のメリット・デメリット

メリット

- 通院回数が少ない
- これまでの生活スタイルを保ちやすい
- 仕事や趣味を続けやすい
- 血圧の変動が少ない

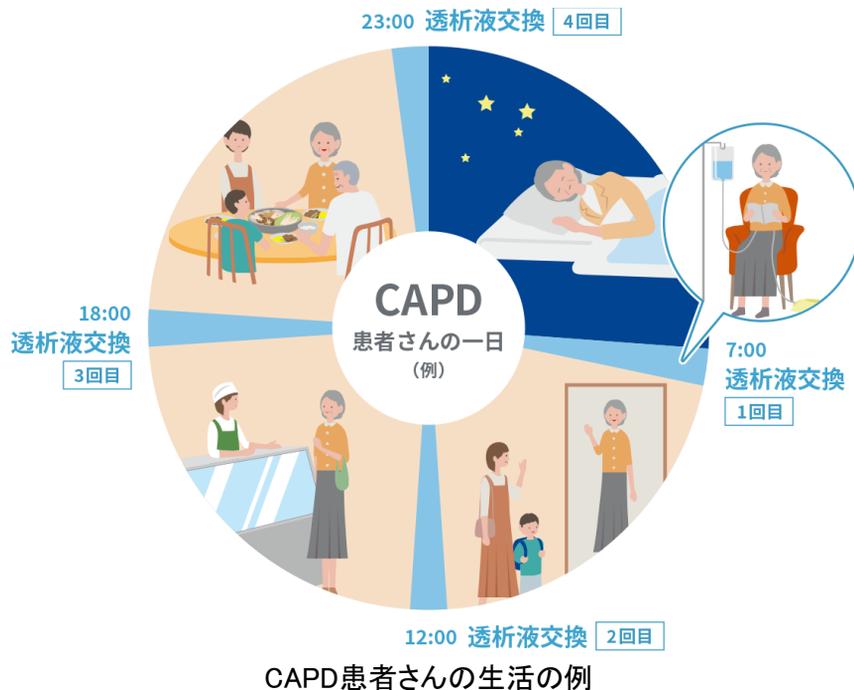
デメリット

- 治療に慣れるまでの時間がかかる
- 腹部膨満感のような症状が出ることがある
- 感染症を予防するための注意が必要
- 自宅に透析液を保管する場所が必要

●CAPD(連続携行式腹膜透析)とは？

1日数回、自分で透析液を交換する方法です。

一回の交換にかかる時間は30分程度です。透析液をお腹に出したり入れたりする一連の操作を「バッグ交換」と言います。



CAPD患者さんの生活の例

生活スタイルに合わせて、「バッグ交換」をする時間をあらかじめ主治医と相談してきめます。1回の「バッグ交換」にかかる時間は30分程度で、その間は、テレビを見たり、本を読んだりするなどして過ごします。「バッグ交換」以外の時間は、外出をしたり、家事を行ったりと、普通の生活を送ります。

●APD(自動腹膜透析)とは？

睡眠中に機械によって自動的に透析液の交換を行う方法です。

APDでは、透析液のバッグとAPDの機械を接続してセットし、就寝前にお腹のチューブと機械をつないで、治療を開始してから就寝します。

透析液の出し入れは、就寝中に機械が自動的に行います。起床後、お腹のチューブを機械から切り離して治療は終了です。

透析液の量や出し入れの回数・お腹に透析液を貯める時間などは、一人一人の状態に合わせて医師が判断し、機械に登録されます。APDでは、就寝中に透析液の出し入れが自動的に行われるため、日中は比較的自由に過ごすことができます。



APD患者さんの生活の例

なお、腎臓の機能や体調に応じて、APDとCAPDを併用する場合があります。